



## 第24回 四万十川ウルトラマラソン

10月21日、「第24回四万十川ウルトラマラソン」が開催されました。20日に十和体育館で前夜祭を開催。地元料理やとどろき太鼓、四万夢多の踊りなどが披露され、楽しくにぎやかな交流となりました。当日は晴天に恵まれ、昭和小学校金管バンドの演奏で開会し、午前10時に60kmの部がこいのぼり公園をスタート。約600名のランナーがゴールの中村高校を目指し、四万十川沿道を駆け抜けました。スタッフの皆さま、選手を応援してくれました地域の皆さま、ご協力と温かいご声援、本当にありがとうございました！

### 各優勝タイム

100km男子	大林 僚	6時間52分16秒
100km女子	兼松 藍子	8時間 3分16秒
60km男子	青野 勇紀	3時間57分50秒
60km女子	武藤 佑子	5時間17分28秒

  

	100km	60km
出走者数	1,767人	574人
完走者数	1,360人	509人
完走率	77.0%	88.7%



## 「谷千城ミュージカル」熊本公演

10月8日、「谷千城ミュージカル」が熊本城で公演されました。きっかけは、平成29年2月に中尾町長が「谷千城顕彰事業」の協力を熊本市に求めた時の話が始まりです。

公演は徐々に盛り上がり、今年のヒット曲「USA」の場面では、中学生の「ゴドモアーズ」のダンスとミュージカルの演出に、たくさんの手拍子が起こり最高潮に達しました。

一座の方は、「谷千城が守った熊本城で、納得の公演ができた」と会心の出来ばえだったようです。



## 季節の風景 11月



### 冬薔薇

「ふゆばら」とも言います。寒牡丹・寒菊同様に冬に咲く品種ではなくて、秋に咲いた四季咲き薔薇のことを言います。

「ばら」の名称は和語で、「いばら」「うばら」「うまら」から転訛したものです。漢語「薔薇」の字を当てますが、この語は音読みで「そうび」「しようび」とも読みます。冬の季節語にも使われ、『古今集』には紀貫之の「そうび」という題の和歌があります。

「我はけさ うひにぞ見つる 花の色を あだなる物と いふべかりけり」

他にも、映画「連合艦隊」の主題歌でも歌われた、谷村新司さんの「群青」の一節にもでてきます。

「せめて海に散れ想いが届かば、せめて海に咲け心の冬薔薇」

戦争で散った息子たちは、雪が降る冷たい群青の海に眠っている。冬に薔薇が咲くように、お前たちも冷たい海からその姿を見せておくれ…。悲痛な親の歌です。冬枯れの寒々しい中で、北風にも負けずに、誇り高く咲く可憐な美しさは人々の心を引きつけて止みません。

## 今月の



### 良い素材で壊れにくい 手作りのアクセサリーを

アクセサリーの制作販売で、町内外のイベントに出店する永見圭子さん。秋のイベントシーズンは特に忙しく、毎週どこかのイベントへと駆け回っておられます。

永見さんは、長崎県佐世保市のご出身。地元の高校を卒業して、大阪のアパレル会社の販売部門やコールセンターなど、さまざまな接客業務で働いておられました。永見さんと会話をすると、その経験の豊かさがよくわかります。「相手を不快にさせない会話の基本」をしっかりと身につけておられます。

さて、永見さんが大阪のあらゆるプラスチック工場で働いて



▲素材と作り方を追求し続けています

永見さんは、これまでの制作活動の中で、さまざまな素材にチャレンジしてきましたが、今では、使用する石は、AAA（トリプルA）ランクの上質の天然石のみ。金具は、金属アレルギーの心配を減らすため、ステンレスやチタンに限定しているということです。また、作りもできるだけ頑丈にしています。永見さん曰く「せっかくなので買ったアクセサリーが壊れてしまおうというのは、結構シヨクなものですから、できるだけ壊れにくい作り方を工夫しています」買ってもらう側としても、長く使ってもらいたいという思いがあるのだそうです。アクセサリーの制作販売の場面では忘れてはいけないのが、永見さんの「人当たり」の良さ。「ああ、あの時こう言ってしまうけど、別の言い方のほうが良かったかなあ」と思うことがばかりだそうですが、常に、ベターな接客方法を探している永見さんからは、学ぶことがたくさんあります。



ながみ けいこ 永見 圭子さん (金上野)